

# あふみヴォーカルアンサンブル 創立25周年記念第9回演奏会 「古(いにし)へのイタリア」歌詞対訳

2023.7.23(日)

## I. イタリアのマドリガーレ集

### 1. Il bianco e dolce cigno 真白で優しい白鳥は (1539)

曲: ジャック・アルカデルト - Jacques Arcadelt (1507-1568)  
フランドル楽派の作曲家。ローマ・システィーナ礼拝堂で少年聖歌隊員の指導者に任用され、後に楽長に抜擢された。

詩: ジョヴァンニ・グイディッチオーニ - Giovanni Guidiccioni (1500-1541)  
ルッカ出身の詩人。フォッソンプローネの司教でもあり、ロマーニャの総督の顔も持つ。

Il bianco e dolce cigno cantando more,	純白で美しい白鳥は歌いながら死ぬ
ed io piangendo giung' al fin del viver mio.	そして私は嘆きながら命の終わりに到る
Stran' e diversa sorte, ch'ei more sconsolato ed io moro beato.	白鳥がさびしく死に 私が幸福に死ぬとは なんと不思議で異なった運命であろう
Morte che nel morire m'empie di gioia tutto e di desire.	死ぬ時にあたって 私をすべての喜びと欲望で満たしてくれる死
Se nel morir, altro dolor non sento, di mille mort' il di sarei contento.	もし死ぬ時に別の苦痛を感じないのならば 日に千回死んでも満足だ

### 2. Ancor che col partire 別れのときは (1547)

曲: チプリアーノ・デ・ローレ - Cipriano de Rore (1515-1565)  
ネーデルラント出身でイタリアで活躍した作曲家。16世紀中頃のマドリガーレ作曲家として最も傑出した存在。

詩: アルフォンソ・ダヴァロス - Alfonso d'Avalos (1502-1546)  
神聖ローマ帝国皇帝およびスペイン王カール5世に仕えた軍人であり、詩人でもある。

Ancor che col partire io mi sento morire,	別れの時は死にそうにつらいけれども
partir vorrei ogn' hor, ogni momento:	されども私はいつも、今の瞬間も別れていきます。
tant' il piacer ch'io sento de la vita ch'acquisto nel ritorno:	再会で得られる生命に私の感じる喜びは、何とすばらしいのでしょうか。
et cosi mill' e mille volt' il giorno partir da voi vorrei:	だから日に何千回となくあなたと別れて
tanto son dolci gli ritorni miei.	そしてまた会う時のなんと甘美なことでしょう。 (中世音楽合唱団HPより)

### 3. Io mi son giovinetta わたしは若い娘 (1542)

曲: ドメニコ・マリア・フツェラボスコ - Domenico Maria Ferrabosco (1513-1574)  
ポローニャとローマで活躍した作曲家。声楽作品のみを作ったが、特にマドリガーレ作家として有名。

詩: ジョヴァンニ・ボッカチッチョ Giovanni Boccaccio (1313-1375)  
ルネサンス文学を代表するフィレンツェの大詩人。代表作「デカメロン」は歴史の教科書では必出。

「デカメロン」9日目の終わりのネイフィレによるパツラータより

Io mi son giovanetta e volentieri	私は若い娘、
M'allegro e canto en la stagion novella,	新しい季節を喜び歌い、
Merzé d'amore e de' dolci pensieri.	愛と甘い思い出に感謝します。
Io vo pe' verdi prati riguardando	緑の草原を通ります、
I bianchi fiori, e' gialli,	白や黄色の花を見て。
Le rose in su le spine, ei bianchi gigli,	とげのあるバラと白いユリ、
E tutti quanti gli vo somigliando	そしてますますそれらは私に似ています。

Al viso di colui ch'amandomi,  
ch'amandomi mi presa terrà sempre.

恋に落ちた彼の顔に、  
私は連れて行かれ、永遠に抱きしめられます。

#### 4. Zefiro torna e'l bel tempo rimena 西風が帰り (1585)

曲: ルカ・マレンツィオ - Luca Marenzio (1553~1599)  
イタリア後期ルネサンス時代を代表するマドリガーレ作曲家。モンテヴェルディなどの初期バロックへの橋渡し役。

詩: フランチェスコ・ペトラルカ - Francesco Petrarca (1304-1374)  
ルネサンスを代表する詩人の一人。詩人としてのみならず、古典文献学者、政治学者など人文主義者として多方面に活躍。

Zefiro torna e'l bel tempo rimena  
e i fiori e l'herbe sua dolce famiglia  
e garrir Progne e pianger Filomena  
e primavera candida e vermiglia.  
Ridon i prati e'l ciel si rasserena  
Giove s'allegra di mirar sua famiglia  
l'aria e l'acqua e la terra e d'amor piena  
ogni animal d'amar si riconsiglia.

西の風がもどり 好天をもたらす  
そのやさしい家族の花や草をも  
プロクネ(つばめ)がさえずり フィロメナ(うぐいす)が鳴き  
春は白と赤につつまれる。  
草原は笑い 空は晴れ  
ジョーヴェ(ジュピター)はその家族を見てはしやぎ  
空気も水も大地も 愛に満ち  
すべての動物はふたたび愛を交わす。

Ma per me lasso, tornano i piu gravi  
sospiri che dal cor profondo tragge  
quella ch'al ciel se ne porto le chiavi.  
e cantar augeletti e fiorir piagge  
e'n belle donne honeste atti soavi  
sono un deserto e fere aspre a selvagge.

それなのに あわれな私には  
天国への鍵を持ちさってしまった彼女が  
心の奥底から引きだす、もっとも苦しいため息がもどってくる。  
小鳥の歌 花咲く丘  
まごころのこもった美しい女性のやさしい行為が  
砂漠や狂暴な野性の動物となる。

## II. パレストリーナ モテット集

曲: ジョヴァンニ・ダ・パレストリーナ Giovanni Pierluigi da Palestrina (1525-1594)  
イタリア・ルネサンス後期の音楽家。カトリック教会の総本山であるサン・ピエトロ大聖堂の楽長の職を務めた。

### 1. Veni sponsa Christi 来たれ、キリストの花嫁 (1564)

聖母のコモンからの第二晩課でのマニフィカート アンティフォナ

Veni sponsa Christi, accipe Coronam  
quam tibi Dominus praeparavit in aeternum.

来て下さい、キリストの花嫁よ、王冠を受けて下さい  
それは主があなたのために とこしえに備えられたものなのですから。

### 2. Ego sum panis vivus 私は命のパンである (1587)

詩: 新約聖書 ヨハネによる福音書 6.48-52a

Ego sum panis vitae.  
Patres vestri manducaverunt manna in deserto, et  
mortui sunt.  
Hic est panis de coelo descendens: si quis ex ipso  
manducaverit, non morietur.

わたしは命のパンである。  
あなたたちの先祖は荒野でマンナを食べたが、死んでしまった。  
しかし、これは、天から降って来たパンであり、  
これを食べる者は死なない。

(新共同訳)

### 3. Super flumina Babylonis バビロン川のほとりで (1587)

詩: 旧約聖書 詩編137 1-2

Super flumina Babylonis illic sedimus et flevimus, cum recordaremur Sion.

バビロンの流れのほとりに座り  
シオンを思って、わたしたちは泣いた。

In salicibus in medio ejus suspendimus organa nostra:

豎琴は、ほとりの柳の木々に掛けた。

(新共同訳)

### 4. Loquebantur 使徒たちは口々に (1564)

詩: ペンテコステの饗宴のための第二朝課のレスポンソリウム。使徒2:4に基づく。

聖霊降臨の主日晩課・交唱5.

Loquebantur variis linguis Apostoli magnalia Dei,

使徒たちは、様々な言語で、神の偉大さを語った

prout Spiritus Sanctus dabat eloqui illis, alleluia.

精霊が彼らに話すことを与えたように、アレルヤ

Repleti sunt omnes Spiritu Sancto, et coeperunt loqui.

彼らは聖霊で満たされ、話し始めた。

## III. ナポリ民謡集

### 1. O sole mio 私の太陽 (1898)

曲: エドゥアルド・ディ・カプア Eduardo Di Capua (1865-1917)

アルフレード・マッツッキ Alfredo Mazzucchi (1878-1972)

詞: ジョヴァンニ・カプッロ - Giovanni Capurro (1859-1920)

編曲: プシエミスワフ・シェラー Przemyslaw Scheller (1990-)

Che bella cosa e' na jurnata 'e sole,

晴れた日は何て素晴らしい、

n'aria serena doppo na tempesta!

嵐の後の澄んだ空

Pe' ll'aria fresca pare già na festa

まるで祭日のような爽やかな空

Che bella cosa e' na jurnata 'e sole

晴れた日は何て素晴らしい

Ma n'atu sole,

だけどもう一方の太陽

cchiù bello, oje ne'

なお一層輝かしい

'O sole mio

私の太陽

sta 'nfronte a te!

君の顔に輝く!

Quanno fa notte e 'o sole se ne scenne,

夜が来て、太陽が沈み切った時、

me vene quase 'na malincunia;

憂鬱がわだかまり始めた。

sotto 'a fenesta toia restarria

君の窓の下に私は留まる

quanno fa notte e 'o sole se ne scenne.

夜が来て、太陽が沈み切った時。

Ma n'atu sole,

だけどもう一方の太陽

cchiù bello, oje ne'

なお一層輝かしい

'O sole mio

私の太陽

sta 'nfronte a te!

君の顔に輝く!

## IV. イタリアバロックの宗教音楽

### 1. Miserere in sol minore ミゼレーレ ト短調

曲: アントニオ・ロツティ - Antonio Lotti (1666-1740)

中期バロック音楽の作曲家。晩年はヴェネツィアのサン・マルコ寺院の楽長を務めた。不協和音の印象的な使用が特徴的。

詩: 旧約聖書 詩編 51

Miserere mei, Deus, secundum magnam misericordiam tuam;	神よ、わたしを憐れんでください御慈しみをもって。
et secundum multitudinem miserationum tuarum, dele iniquitatem meam.	深い御憐れみをもって背きの罪をぬぐってください。
Amplius lava me ab iniquitate mea: et a peccato meo munda me.	わたしの咎をことごとく洗い罪から清めてください。
Quoniam iniquitatem meam ego cognosco, et peccatum meum contra me est semper.	あなたに背いたことをわたしは知っています。わたしの罪は常にわたしの前に置かれています。
Tibi soli peccavi, et malum coram te feci; ut justificeris in sermonibus tuis, et vincas cum judicaris.	あなたに、あなたのみにもわたしは罪を犯し、御目に悪事と見られることをしました。あなたの言われることは正しくあなたの裁きに誤りはありません。
Ecce enim in iniquitatibus conceptus sum: et in peccatis concepit me mater mea.	わたしは咎のうちに産み落とされ、母がわたしを身ごもったときもわたしは罪のうちにあったのです。
Ecce enim veritatem dilexisti: incerta et occulta sapientiae tuae manifestasti mihi.	あなたは秘儀ではなくまことを望み、秘術を排して知恵を悟らせてくださいます。
Asperges me hyssopo, et mundabor; lavabis me, et super nivem dealbabor.	ヒソプの枝でわたしの罪を払ってください、わたしが清くなるように。わたしを洗ってください、雪よりも白くなるように。
Auditui meo dabis gaudium et laetitiam: et exsultabunt ossa humiliata.	喜び祝う声を聞かせてください、あなたによって砕かれたこの骨が喜び躍るように。
Averte faciem tuam a peccatis meis, et omnes iniquitates meas dele.	わたしの罪に御顔を向けず咎をことごとくぬぐってください。
Cor mundum crea in me, Deus, et spiritum rectum innova in visceribus meis.	神よ、わたしの内に清い心を創造し、新しく確かな霊を授けてください。
Ne projicias me a facie tua, et spiritum sanctum tuum ne auferas a me.	御前からわたしを退けず、あなたの聖なる霊を取り上げないでください。
Redde mihi laetitiam salutaris tui, et spiritu principali confirma me.	御救いの喜びを再びわたしに味わわせ、自由の霊によって支えてください。
Docebo iniquos vias tuas, et impii ad te convertentur.	わたしはあなたの道を教えます、あなたに背いている者に罪人が御もとに立ち帰るように。
Libera me de sanguinibus, Deus, Deus salutis meae, et exsultabit lingua mea justitiam tuam.	神よ、わたしの救いの神よ、流血の災いからわたしを救い出してください。恵みの御業をこの舌は喜び歌います。
Domine, labia mea aperies, et os meum annuntiabit laudem tuam.	主よ、わたしの唇を開いてください。この口はあなたの賛美を歌います。
Quoniam si voluisses sacrificium, dedissem utique; holocaustis non delectaberis.	もしいけにえがあなたに喜ばれ、焼き尽くす献げ物が御旨にかなうのなら、わたしはそれをささげます。
Sacrificium Deo spiritus contribulatus; cor contritum et humiliatum, Deus, non despicies.	しかし、神の求めるいけにえは打ち砕かれた霊。打ち砕かれ悔いる心を、神よ、あなたは侮られません。
Benigne fac, Domine, in bona voluntate tua Sion, ut aedificentur muri Jerusalem.	御旨のままにシオンを恵み、エルサレムの城壁を築いてください。
Tunc acceptabis sacrificium justitiae, oblationes et holocausta; tunc imponent super altare tuum vitulos.	そのときには、正しいいけにえも、焼き尽くす完全な献げ物も、あなたに喜ばれ、そのときには、あなたの祭壇に雄牛がささげられるでしょう。

(新共同訳)

## 2. Magnificat in Si bemolle maggiore マニフィカート 変ロ長調

曲: フランチェスコ・ドゥランテ - Francesco Durante (1684-1755)

後期バロックの作曲家。サントノフリオ音楽院でアレッシンドロ・スカラツティに師事。自身も同音楽院で教授を務めた。

詩: 新約聖書 ルカによる福音書 1.46-55

Magnificat, anima mea, Dominum  
et exultavit spiritus meus in Deo, salutari meo.  
Quia respexit humilitatem ancillæ suæ:  
Ecce enim ex hoc beatam me dicent omnes generationes.  
  
Quia fecit mihi magna, qui potens est,  
  
et sanctum nomen eius,  
et misericordia eius a progenie in progenies timentibus eum.  
  
Fecit potentiam in brachio suo,  
dispersit superbos mente cordis sui.  
Deposuit potentes de sede et exaltavit humiles:  
  
esurientes implevit bonis et divites dimisit inanes.  
  
Suscepit Israel puerum suum recordatus misericordiæ suæ,  
  
sicut locutus est ad patres nostros,  
Abraham et semini eius in sæcula.  
Gloria Patri, et Filio, et Spiritui Sancto:  
Sicut erat in principio, et nunc, et semper, et in sæcula sæculorum.  
Amen.

わが魂は主をあがめ、  
わが霊は、わが救い主なる神を喜びました。  
主はそのはしための低きをかえりみ給うたのです。  
ごらん下さい、今から後は、すべての代々が私を祝福するでしょう。  
  
力あるかたが、私に大いなることをして下さったからです。  
  
その名は聖く、  
その慈愛は、代々にわたって、主をおそれる者たちに。  
  
主は御腕をもって力をふるい、  
心の思いが傲慢である者どもを散らし、  
権力者をその座から引きずり下ろし、低き者を高め給うたのです。  
  
飢えている者を良きもので満たし、富んでいる者どもを空手のままに追い払い、  
その僕イスラエルをかえりみ、慈愛を思い起こして下さいました。  
  
我らの父祖たちに対して語って下さったように。  
アブラハムとその子孫とに、とこしえに。  
栄光は父と子と聖霊に。  
初めにあったように、今もいつも、永久に。  
アーメン。



## ～クリスマスコンサートのお知らせ～



第 53 回滋賀県芸術文化祭参加

### あふみヴォーカルアンサンブル クリスマスコンサート 2023 「歌は人々を結ぶ」

日時：2023年12月16日(土)18:30 開演  
会場：六荘まちづくりセンター（六角館）ホール  
滋賀県長浜市勝町490 (0749-62-0198)

- 入場料：無料（要整理券）
- 整理券配布開始予定 10月22日(日) 詳しくはあふみ HP にて
- 主な演奏楽曲

坂本龍一「Cantus Omnibus unus 歌は人々を結ぶ」

チャイコフスキー「くるみ割り人形」より「花のワルツ」 ほか

ジングルベル、あらの野の果てに、おめでとうクリスマス、赤鼻のトナカイ ほか

※インターネットライブ配信予定

## **No Chorus, No Life!** ～メンバー募集～

あふみヴォーカルアンサンブルでは、随時団員を募集しております。

まずは練習をご見学ください。

◆こんな人は、あふみ向き・・・

- ・3度の飯より、歌が好き！
- ・一人でいるより、みんなでワーワー騒ぐのが好き！
- ・ルネサンス音楽が大好き！
- ・週に1回は歌わないと、体調が悪い。
- ・現状に満足せず、挑戦したい！
- ・土曜日午後に長浜・米原・彦根に来られる。
- ・ぼっちりハモって倍音が聞こえるアノの感覚が大好き！

◆主な活動

- ・自主企画・開催のコンサート出演（演奏会、クリスマスコンサート）
- ・加盟団体等行事出演（彦根音楽連盟市民音楽祭、滋賀県合唱祭 等）
- ・各種団体からの依頼・公募に対応した演奏
- ・地域行事での出演依頼に対応した演奏披露

◆練習：毎週土曜日 13:00-17:00 長浜・六角館/米原学びあいステーション など  
JR米原駅等からの送迎対応可能です。まずは、ご相談ください。

◆団費：月2,000円（その他、楽譜代、行事によって臨時徴収あり。）

◆お問い合わせ先：e-mail: [query@afumi.com](mailto:query@afumi.com)